

日蓮宗 常栄山 本照寺だより



お会式は10月17日(土)
(別紙をご覧ください)



今年は「仲分万灯」「立正佼成会万灯」「世話人万灯」「有志万灯」が奉納されます。皆さまのお越しを！

一泊お山しゅぎょうを「タウンニュース社」が取材



▼以下にその記事を紹介
します。

■小中学生が寺で読経や礼儀作法を学ぶ催しが8月7日と8日の2日間、市内下古沢の本照寺(須藤教裕住職)で行われた。この取り組みは、今年で18回目。「一泊お山しゅぎょう」と称して、自分のためになることは人のためにもなるという「自利利他」の精神と

■葬儀式も終わり、いよいよ出棺も近づき、棺のフタを閉じる前に進行係は遺族に最期の言葉、お別れの言葉を掛けるように促す。遺族はこれに応える。「お母さん今までありがとう」とは、家庭を守り、食事の用意などによって育ててくれた母へのねぎらいの言葉。良き母だったのだから。「お父さんご苦労さまでした」「お疲れさまでした」とは、仕事一筋で来た父へのねぎらいの言葉。働きの者だったのだから。「お世話になりました」とは、親族や友人知人による感謝の言葉。面倒見が良かったのだから。「父さん、母さんに会えるんだよ」「両親が待っているからね」とは、信仰心からの言葉。「……」。時に何の言葉掛けも

お別れの言葉

ない時がある。日本人らしいとも言おうか、やはり私たち日本人は「恥じらい」が強い。或いはまた「掛ける言葉すらない」のかもしれない。いつも思うことは、「生きてきたようにしか死ねない」ということ。「棺を覆って事定まる」とは、まさに良く言ったもの。■死別は悲しいけれど、誰にでも訪れるもの。「先ず臨終のことを習って、後に他のことを習うべし」「先立つははかなく、留まるは賢きように思いて、昨日はかのこと、今日はこのこととて」とは、日蓮聖人の言葉。死を考えることは、翻って如何に生きるかを考えること。しかし、言うは易く、行うは難し、である。と共に、加齢が氣力を削ぐことを実感する日々である。人生はいろいろだ。

「食べ物の命を大切にすること」を言うことを身につけることがねらい。今年も小学1年生から中学2年生までの23人が参加し、読経体験やウォークラリーを行った。■読経が始まると、子供たちは一気に集中。住職とともに「南無妙法蓮華経」と唱え、その後の法話にも真剣に耳を傾けていた。須藤住職は「この体験を通して、人様のお役に立つために生きる、ということを理解して欲しいですね」



愛川町田代運動公園プールへも行ったよ

と笑顔で話した。

朝の詩
今日
ああ面倒くさいなあ
とだらだら
過ごした今日
それは
明日ガンで亡く
なった誰かが
昨日事故で亡く
なった誰かが
どうしても

生きたかった
一日
朝夕に
仏壇へ灯をともし
父と二人だけの
対話のひととき
願掛けは
決してしない
無になりて
ひたすら手を交わす

心の迷いに
燭台の灯が
小刻みに揺れる
「ああ、親父は
死んでからも
子を案じているの
か」
母の生き方
東京都足立区
新井和歌子72

先生のお供で行った
樺太の診療助手
奥只見ダム現場
の助手
国立病院勤務等
83歳まで現役
そんな母を見習えず
何の取り得もなく
ただただ馬鹿正直に
生きた人生
お母さんこれでも
いいですか?
幸せて
岡山市中区

高山秋津 66
金魚の記憶は
30秒以上は
持続しないと
聞いたことがある
常に「未知」の中を
泳いでいる彼らは
案外、幸せなのかも
しれない
90歳の母の毎日も
また「未知」なのだ
忘れるから新鮮
新鮮だから楽しい
母の「ああ幸せ」を
今日何度聞かろう
(産経新聞から)

柴又帝釈天のお会式でまといを振る寅さん

■写経が終わる3時半頃から「男はつらいよ」の第一話を白壁スクリーンにて放映します。ストーリーの中でお会式でまといを振る寅さんが登場します。■柴又帝釈天は日蓮宗のお寺です。全48作品の第一話に、お会式のお祭りが撮影され、寅さんがまといを振るのですが、実は帝釈天で実際にまといを振っている男性が代役として登場するのです。ですので寅さんのまとい姿は後ろ姿での登場となります。またお檀家さん撮影の8年前のビデオも放映します。



寅さんシリーズ第一作

「決して素直に『ありがとう』と言わない人。『ありがとう』と言っても恩返しをしない人。『ありがとう』と唱えただけで恩返しはできたと思っているひと」「不幸の三定義」

■人間という言葉が好きです。人間は人と人との間で初めて人間になれる、ということですが、仏教は更に深く「※諸法無我」と説きます。諸法（すべてのものは）無我（単独では存在できない）ということですので。これはこの世に存在するありとあらゆるものに当てはまります。すべての存在はお互いに関係し在って存在していません。そう、私たちは関わりの中でしか存在できないのです。人間で言えば、自分は他によつて成り立っている、ということですが、仏典では「これが有れば彼（あ）が有り、これが無ければ彼が無い」と説きます。左記文章はこのことを分かりやすく示します。

忘れていた記憶

■2年前、宇都宮の内観研修所で一週間、※内観をしたことがある。そのときに、遙か遠くに忘れていた記憶が不意によ



「小さな人生論」から紹介

みがえつてきたような思いが胸中をよぎった。それは、「生きていくということだ」と言っているということだ。いま仮に、どんな状況の中にあろうとも、その状況がどんなに不遇な恵まれな

い状況にあろうとも、そこに生きていくということはずでにたくさんの愛情に恵

まれ支えられてきた、というのである。そういう思いが天啓のように走ったとき、半畳の囲いの中で、嗚咽していた。

2パートの遺伝子

■遺伝子の専門家による

と、人間とチンパンジーの遺伝子は98パーセント同じだ、という。人間とチンパンジーを分けるのは、たった2パーセントの遺伝子の差でしかない、というのである。ここに何か大事なメッセージが込められているよ

生きていくということは 愛されているということだ

境内の景観や運用に関して、檀信徒の方々に関わる変更点が2つありますので、お知らせいたします。

①坂の石垣の補修



山門をくぐるとすぐ左にある階段の石垣を補修しました。樹齢30年以上のノキの根張りを良くするために石垣を張り出さ

坂の石垣と和室の開放のお知らせ

②和室の開放

写真① 法要控え室として2カ所の部屋が使えると何かと便利だということ、檀信徒の方々が利用できるように和室を開放しました。年忌法要などで行った方はご存じのことでしょう。現在、本照寺で一番眺めの良い部屋で、10名まで座ることが



見習い僧のコーナー



せていましたが、結局ヒノキは枯れてしまい、このたび元に戻した次第です。今までの途中でも対向車に出会った場合、すれ違うことができませんでしたが、今後は可能になりました。

■その悲しい事例を、私たちは歴史に持っている。1920年、インドのカルカッタ付近で発見されたオオカミに育てられた2人の少女の話である。下の子は発見された翌年に死んだが、上の子はその後8年間大事に育てられた

オオカミに育てられ

動によってオンになったり、オフになったりするらしい。とすれば、もしこの2パーセントの遺伝子が活動しなければ、人間は人間として生まれても人間にならないで終わるということである。

人は人によって輝く

人は人として生まれても、そして肉体的に栄養を与えられても人間として成長することはできない、ということである。

人は人の間で愛情をかけられて育つからこそ人間となる。人として輝きのある人生を生きたことができるのである。一人で発光している人はいない。どの人も人の愛情を受けて光っている。人は人によって輝くのである。

※「諸法無我」とは仏教で教える基本的な教え、三法印（さんぽういん）の一つ。「諸行無常」「諸法無我」「涅槃寂静」の三法印の①無常印、②無我印の教えを理解し、感謝の心で生活できるようにすれば、そこに「涅槃寂静」という境地が生まれる、ということ。

【藤尾秀昭】
 株式会社知知（ちち） 出版社・代表取締役社長・兼編集長。月刊『知知』は創刊以来32年「人間学」を追求し続けている。『知知』は見識のある日本のリーダーたちを唸らせ、稲盛和夫や岡田武史など各界に熱心な愛読者を持つ。藤尾の仕事にける情熱と熱い講演には定評があり、老若男女を問わず全国に「知知ファン」を増やしている。



本照寺 僧家様
 「ご埋葬」はイシックスにお任せ下さい
 埋葬料 10,000円(税込)
 満掃・洋石メジ・香炉皿交換 金お手厚
 (古具換)

0120-011140

□甲塚店 724-0014 平塚市西之宮2-24-01 TEL 0462-59-1114 FAX 0462-54-2222
 □小田原店 720-0011 小田原市東2-22-22 TEL 0462-20-1114 FAX 0462-20-1135

編集後記
 ■私の長女が3人目を、長男が一人目を出産する。そう、私には4人目の孫が誕生する。上は小学3年生。さて、「キラキラネーム」を存じだろるか。説明より実際の名前をお知らせしよう。輝星と書いて（キラリ）。本気（リアル）。男（アダム）。世文（セブン）。今鹿（ナウシカ）。皇帝（シイザア）。黄熊（ブウ）。愛保（ラブホ）。宝物（おうち）。実際の名前である。以前、悪魔（あくま）との命名が話題になったが、これは実現には至らなかった。今は歯止めがきかず年々エスカレーターしている、といったところか。しかし大人になったらどうするのだろう、これが第一印象。さて、我が孫の名前は如何に……

■できちゃった婚（寿婚） 夫婦の離婚率は44パーセントで、非できちゃった婚より7パーセント率が高く、約2組に1組が5年以内に離婚するようです。またできちゃった婚とは反対に、結婚しない女性が増えています。このことは必然的に結婚できない男性を増やします。少子化は出生率の低下よりも、非婚率の上昇が最も大きな要因といわれています。

■次は独身女性たちの会話を「世界傑作格言集」より紹介します。「私もうぬぬ切れないほど『結婚してくれ』って頼まれたわ」「知ってるわよ、頼んだのはあなたの両親でしょ？」